

修了評価の方法

評価基準作成者： 平井 京子

評価方法及び合格基準	1 出題範囲 ・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 2 出題形式 ・五肢択一形式とする。 3 出題数 ・択一問題25問（配点4点） - 全問正解：100点満点 4 合否判定基準 ・60点以上 5 不合格になったときの取扱い ・結果発表後、直ちに1時間の補習のうえ再評価を行う。 - なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。 - 補習料及び再評価料：1回3,000円 ・再試験を最大2回まで実施する。 - なお、再試験の結果、不合格であった者には再度補習を行う。 - 補習料及び再試験料：1回あたり3,000円
------------	---